

2022年12月1日

各位

会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
代表者名 代表取締役会長 浅山 雄彦
(コード: 2927、東証スタンダード)
問合せ先 取締役会長室長 南方 茂穂
(TEL. 054-281-5238)

会社名 株式会社日本予防医学研究所
代表者名 代表取締役会長 浅山 忠彦
(AFC-HD グループ)

富山大学 和漢医薬学総合研究所との共同研究の研究成果が、
米国科学誌 **Phytochemistry** に掲載されました

株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス(本社:静岡県静岡市、会長:浅山雄彦)とグループ会社である株式会社日本予防医学研究所(本社:静岡県静岡市、会長:浅山忠彦)は、富山大学 和漢医薬学総合研究所の森田洋行教授らの研究グループとの共同研究において、ベトナム産ショウガ科植物の根に含まれる特徴的な化合物にも抗炎症活性があることを科学的に示しましたので、お知らせいたします。

なお、この研究成果は米国科学誌 **Phytochemistry** に掲載されました。

株式会社AFC-HDアムスライフサイエンスと株式会社日本予防医学研究所は、富山大学 和漢医薬学総合研究所の森田洋行教授らの研究グループとの共同研究により、ベトナム産ショウガ科植物 *Kaempferia marginata* の根の有機溶媒抽出液には抗炎症活性を有するイソピマラン型ジテルペノイドが多数含まれていることを明らかにしてきました。今回、弊社は、本抽出液に天然では非常に稀な 9,10-seco-イソピマラン型ジテルペノイドの構造を持つ 4 種の新規化合物がさらに含まれていることを明らかにしました。さらに、これらの化合物が炎症モデル細胞において、一酸化窒素の産生を抑制できることを確認しました。

本植物の根は、ベトナムでは料理のスパイスとして使用されていると同時に、そのアルコール抽出物は、筋肉痛などの炎症を伴う痛みの緩和の目的で伝統的に利用されています。細胞内における一酸化窒素の産生を抑制することは、抗炎症作用の一つの指標であり、一酸化窒素産生抑制活性を示す化合物は、炎症が関連する様々な疾病に対する治療薬の候補となります。

あらたに得られた抗炎症活性成分は稀な構造をもつ化合物であることから、本植物の根は、その根を利用した特徴のある機能性食品や化粧品などの開発へと応用できることが期待されます。

* 学術誌掲載情報 ([https:// www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0031942222004265](https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0031942222004265))

学術誌名: *Phytochemistry* 205(2023) Article 113510.

タイトル: Seco- and isopimarane diterpenoids from *Kaempferia marginata* rhizomes and their NO inhibition activities

著者: Kiep Minh Do, Takeshi Kodama, Hien Minh Nguyen, Naoki Ikumi, Chigusa Soeda, Ken-ichi Shiokawa, Hiroyuki Morita.